

六郷小閉校へ 末永く記憶に

池田幸春57歳 小学校長

(山鹿市)

山鹿市立六郷小学校は、本年度末に閉校を迎え内田小、城北小とともに菊鹿小として新たな歴史をスタートする。当初は、新校舎が六郷小の運動場に建設されることもあり、閉校の寂しさや残念な気持ちとともに、夢にあふれ希望に満ちた菊鹿小開校という未来志向のもとでの取り組みを意識していた。

ところが2学期に入ると最後の運動会に始まり、各種大会では「六郷」のユニフォームも最後という思いや地域の行事で子どもたちが歌う校歌、

閉校へのスピーチに何度も涙がこぼれた。さらに、関係者の来校や卒業生の「閉校を前に校舎を見せたい」との問い合わせが続ぎ、深い母校愛を何度も実感した次第である。

年末には新校舎への引っ越しがあり、新年早々現校舎の解体工事が始まるため、12月13日に閉校式典が行われる。式典の後、卒業生の夢実現メッセージ、在校生120人による「ありがとう六郷小 未来に向かって菊鹿小」をテーマに歌や構成詩などを披露する。多くの方に参加をいただき、思い出の校舎と最後の在校生の姿を末永く記憶に留めていただくことを心から願っている。